



平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社

コード番号 6915 URL <http://www.chiyoda-i.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 光明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村田 功

TEL 03-3542-3412

四半期報告書提出予定日 平成26年7月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績（平成25年9月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	34,729	20.4	2,853	97.1	2,992	50.2	1,780	1.7
25年8月期第3四半期	28,841	3.6	1,447	38.0	1,992	88.7	1,750	-

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 2,256百万円 (△48.6%) 25年8月期第3四半期 4,392百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	131.75	-
25年8月期第3四半期	129.49	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	39,796	27,873	70.0
25年8月期	38,058	26,023	68.4

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 27,873百万円 25年8月期 26,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	-	0.00	-	30.00	30.00
26年8月期	-	0.00	-	-	-
26年8月期(予想)	-	-	-	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	8.8	3,600	49.8	3,900	34.7	2,300	11.2	170.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社 （社名）一、 除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年8月期3Q	14,128,929株	25年8月期	14,128,929株
26年8月期3Q	612,302株	25年8月期	611,882株
26年8月期3Q	13,516,823株	25年8月期3Q	13,517,117株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、雇用・所得環境の改善による消費の拡大と企業の堅調な投資活動に支えられた米国を中心に緩やかに回復基調にあります。しかし、米国が量的緩和の縮小を進めていることや中国においては過剰投資、シャドーバンキング問題が表面化していることから大幅な調整に陥るリスクもあり、依然として、先行きに対する不透明感が残っております。

一方、わが国経済におきましては、デフレ脱却と本格的な経済再生に向けて着実に歩みを進めつつあります。消費増税に伴う駆け込み需要の反動が生じたものの、金融・財政政策の効果が広く波及し、経済の前向きな好循環がしっかりと作用し始めたことから、個人消費・企業の設備投資は拡大を続けております。さらに円安・海外景気回復を背景とした輸出増に支えられ、日本経済全体として景気は緩やかに回復傾向にあります。

このような経営環境の中で当社グループは、基本方針に「事業領域の拡大と収益力の改善」を掲げ、継続して外資系企業との取引拡大や新商材の拡販を積極的に進めるとともに、需要に柔軟に対応できる生産体制を構築してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は34,729百万円（前年同四半期比20.4%増）、営業利益は2,853百万円（前年同四半期比97.1%増）、経常利益は2,992百万円（前年同四半期比50.2%増）、四半期純利益は1,780百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

日本は、新しい分野への活動を積極的に進めているものの、既存顧客の生産が戻らず、売上高は8,210百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業損失は95百万円（前年同四半期は219百万円の営業損失）となりました。東南アジアは、政治的混乱等が発生するも、AV機器（テレビ）・スマートフォン向けの受注が堅調に推移し、売上高は7,824百万円（前年同四半期比15.7%増）、営業利益は490百万円（前年同四半期比879.8%増）となりました。中国は、スマートフォン向けの受注が順調に推移し、売上高は17,497百万円（前年同四半期比46.0%増）、営業利益は1,602百万円（前年同四半期比105.9%増）となりました。その他の売上高は1,197百万円（前年同四半期比19.6%減）、営業利益は100百万円（前年同四半期比46.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,737百万円増加し、39,796百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加2,194百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、11,922百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少987百万円であります。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,850百万円増加し、27,873百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加1,375百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く経営環境等の推移を見極める必要があります。現時点におきましては平成26年1月14日に公表いたしましたものと変更はございませんが、必要に応じて見直しを行い、速やかに開示いたします。

連結売上高44,000百万円、連結営業利益3,600百万円、連結経常利益3,900百万円、連結当期純利益2,300百万円を見込んでおります。なお、為替レートにつきましては、1米ドル=100円で業績予想を算出しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,721	11,916
受取手形及び売掛金	10,981	10,774
有価証券	49	51
商品及び製品	1,683	1,763
仕掛品	385	316
原材料及び貯蔵品	2,639	2,511
繰延税金資産	227	239
その他	399	279
貸倒引当金	0	47
流動資産合計	26,087	27,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,859	9,751
減価償却累計額	6,424	6,451
建物及び構築物(純額)	3,435	3,299
機械装置及び運搬具	8,583	8,384
減価償却累計額	5,698	5,662
機械装置及び運搬具(純額)	2,885	2,721
工具、器具及び備品	1,839	1,919
減価償却累計額	1,473	1,524
工具、器具及び備品(純額)	365	395
土地	1,612	1,670
建設仮勘定	102	42
有形固定資産合計	8,400	8,130
無形固定資産		
ソフトウェア	327	271
ソフトウェア仮勘定	9	6
電話加入権	13	12
無形固定資産合計	350	291
投資その他の資産		
投資有価証券	2,416	2,482
繰延税金資産	72	79
その他	768	1,026
貸倒引当金	37	20
投資その他の資産合計	3,220	3,568
固定資産合計	11,971	11,989
資産合計	38,058	39,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,179	6,192
短期借入金	1,639	2,207
1年内返済予定の長期借入金	24	24
未払法人税等	409	285
賞与引当金	244	172
その他	1,118	1,499
流動負債合計	10,616	10,381
固定負債		
長期借入金	75	56
繰延税金負債	258	362
退職給付引当金	809	898
その他	275	223
固定負債合計	1,418	1,541
負債合計	12,035	11,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	21,792	23,168
自己株式	848	849
株主資本合計	25,725	27,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	385
為替換算調整勘定	92	388
その他の包括利益累計額合計	297	773
純資産合計	26,023	27,873
負債純資産合計	38,058	39,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	28,841	34,729
売上原価	22,971	27,244
売上総利益	5,870	7,485
販売費及び一般管理費	4,422	4,632
営業利益	1,447	2,853
営業外収益		
受取利息	49	46
受取配当金	16	19
為替差益	519	111
その他	91	68
営業外収益合計	676	246
営業外費用		
支払利息	21	45
その他	110	61
営業外費用合計	132	106
経常利益	1,992	2,992
特別利益		
固定資産売却益	221	15
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	221	17
特別損失		
固定資産除売却損	27	9
特別退職金	53	63
関係会社整理損	-	303
特別損失合計	81	376
税金等調整前四半期純利益	2,132	2,633
法人税等	381	853
少数株主損益調整前四半期純利益	1,750	1,780
四半期純利益	1,750	1,780

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,750	1,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	441	4
為替換算調整勘定	2,200	480
その他の包括利益合計	2,641	475
四半期包括利益	4,392	2,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,392	2,256
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	8,605	6,759	11,986	27,352	1,489	28,841	-	28,841
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,053	73	647	2,773	8	2,781	2,781	-
計	10,658	6,833	12,634	30,125	1,497	31,623	2,781	28,841
セグメント利益 又はセグメント損失()	219	50	778	608	189	797	649	1,447

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	8,210	7,824	17,497	33,532	1,197	34,729	-	34,729
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,403	167	747	3,319	2	3,321	3,321	-
計	10,614	7,991	18,245	36,851	1,199	38,051	3,321	34,729
セグメント利益 又はセグメント損失()	95	490	1,602	1,997	100	2,098	755	2,853

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において区分表示しておりました「北米」セグメントは、報告セグメントにおける重要性が低下したため、当第3四半期連結会計期間では、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。